

平成27年度第1回ボランティア市民活動推進協議会 会議録

1.開催日時 平成27年8月11日(火) 19時10分から20時20分まで

2.場 所 四国中央市保健センター 1階 集団検診室

3.出席者 (会長)大西 誠治 (副会長)西山 由美子

(委員)井原 司、大西 裕之、鎌倉 裕基、鈴木 千代子

新田 浩介、藤田 英樹、宮崎 憲士

(事務局) 社会福祉協議会 近藤 智美 課長

市民環境部 塩田 浩之 部長

市民交流課 金崎 佐和子 課長、星川 潤

守屋 伸康、水田 隆史

4.傍聴者 0名

5.会議内容 1.開会

2.自己紹介

3.会長・副会長選任(選任後、挨拶)

4.議事

・ボランティア市民活動推進計画進捗状況報告

・ボランティア市民活動センター平成26年度事業報告

平成27年度事業計画

・ボランティア市民活動センター管理体制について

・その他

5.閉会

6.会議録 次頁

発言者	発言内容
事務局長	平成27年度第1回ボランティア市民活動推進協議会を開催いたします。会長が決定するまで、司会を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは次第に沿って進めさせていただきます。なお、本審議会および議事録は公開とさせていただきますので、ご了承ください。
事務局長	<p>次第2 自己紹介に移ります。今期、初就任の委員もおられますので、かな順でその場で自己紹介をよろしくお願いいたします。それでは井原委員よりお願いいたします。</p> <p>～ 各委員の自己紹介 ～</p>
事務局長	<p>ありがとうございました。それでは事務局の自己紹介に移ります。</p> <p>～ 事務局の自己紹介 ～</p>
事務局長	それでは、次第3 会長・副会長の選任に移ります。自薦、他薦は問いませんが、何かご意見はございませんか。
鎌倉委員	事務局から何か案はございませんか。
事務局	はい、事務局案ですが、会長については前期も会長を務めていただいている大西誠治委員に引き続きお受けいただき、副会長については現在委員3期目の西山由美子委員にお受けいただくのが良いかと考えます。事務局案は以上です。
事務局長	<p>事務局案は会長に大西誠治委員、副会長に西山由美子委員ということですがいかがでしょうか。</p> <p>～ 異議無く 拍手にて満場一致で可決 ～</p>
事務局長	<p>ありがとうございます、それでは第6期ボランティア市民活動推進協議会の会長には大西誠治委員、副会長には西山由美子委員に決定いたしました。一言ご挨拶お願いいたします。</p> <p>～ 会長・副会長挨拶 ～</p>
事務局長	<p>ありがとうございました。会長、副会長の席にお移りください。</p> <p>～ 会長・副会長 席移動 ～</p>
事務局長	続きまして次第4 議事に進みたいと思いますが、ここからは会長に司会進行をお任せいたしますので、よろしくお願いいたします。

大西会長	<p>座ったまま失礼致します。それでは引き続き議事を進めてまいりますので、皆様は忌憚のないご意見をいただけたらと思います。</p> <p>では、議事1 ボランティア市民活動推進計画進捗状況報告を事務局よりお願いいたします。</p> <p>～ 事務局より資料に沿って説明 ～</p>
大西会長	<p>ありがとうございました。ご意見はございませんか。</p> <p>現在未着手の部分について、具体的な今後のスケジュールは決まっていますか。</p>
事務局	<p>関係部署との協議等もございますので、現段階でいつからとは決まっていません。</p>
大西会長	<p>実施事項ということなので、できるだけ実施できるようにお願いします。</p> <p>他にご意見ございませんか。</p> <p>無いようですので、続きましてボランティア市民活動センターの昨年度の実績報告と本年度の事業計画の説明を社会福祉協議会 近藤課長よりよろしくお願いたします。</p> <p>～ 社会福祉協議会より資料に沿って説明 ～</p>
大西会長	<p>ありがとうございました、ご意見はございませんか。</p>
藤田委員	<p>失礼します、センター利用者等の年齢層はわかりますか。また福祉教育は有効であるか、動向を伺いたいです。</p> <p>当校(四国医療福祉総合学院)が、国家資格の対策を始めて当校としてボランティアを行う機会が減っており影響があったかお伺いします。</p>
近藤課長	<p>まず年齢層ですが、統計を取ってはいないが、センター利用者は年配の方が多いです。</p> <p>福祉教育の有効性ですが、学校等の担当者の意識によって差が大きいと思います。学習プログラムの開発も課題と考えます。</p> <p>また、学生ボランティア自体が一時から比べると減ってはいますが、ボランティアチャレンジなどを活用し活動している学生がいると思いますし、学校やボランティア先から証明書を出しているのだと思います。</p>
藤田委員	<p>証明を出したり、資格の実習だと言えば積極的に参加するが、そういった物が無ければ、なかなか参加しないのが実態だとお伝えしておきます。ありがとうございます。</p>
鎌倉委員	<p>マッチングの詳細を示すことはできますか。</p>
近藤課長	<p>毎月の報告で、マッチングの詳細も出ているので、ここで示すことも出来ます。</p>

大西会長	ケーブルテレビでボランティアを行っている様子が放映されているが、そこにボランティアセンターの名前が1度も出ていません。ボランティアセンターを経由している物であれば、名前を出してもらえばPRに繋がると思います。ホームページでもマッチングの実例を面白く紹介したら良いPRになると思うので検討いただきたい。
新田委員	人材育成講座は利用者がこの時間帯が良いとの話でこの日時で設定したのですか。
近藤課長	以前もご指摘をいただきましたが、講師等の関係で平日の昼間の設定になっています。
大西会長	せめて、土曜日開催を考えて欲しいです。
西山副会長	学生ボランティアを依頼した後に、アンケートなどを取って意見を集めていますか。 また、どのように学生に依頼していますか。
事務局長	事務局、市民で灯そう10万の光りはどのようになっていますか。
事務局	市民で灯そう10万の光り事業の高校生ボランティアですが、依頼は高校へ直接行っております。なお、2年前には参加高校生にアンケートを実施し、受入側の体制に対してボランティアの数が多いとの結果が出ましたので、その意見を反映し、翌年からはボランティアの数を削減した経緯もございます。
井原委員	話しは本題からズレますが、ボランティアはそもそも無償で行うものであると言いつつ、高校生も私たち企業も何かしらのポイントを目的として行っているのが現状であり、ボランティアについて再度考えたいと思います。
大西会長	他にご意見ございませんか。 無いようですので、続きましてボランティア市民活動センター管理体制について事務局より説明をお願いします。  ～ 事務局より資料に沿って説明 ～
大西会長	ボランティア市民活動センターの開館日について、皆様いかがですか。
大西委員	自分はボランティアセンターの門を叩いてボランティアを始めたが、平日の日中は仕事をしておりボランティアセンターに行くことができないので、土日開館は必要と考えます。
藤田委員	祝日の開館はどうなっていますか。また通所介護施設の利用が多いのならその施設の休みの日は休館にしたらいかがでしょうか。

近藤課長	<p>祝日は翌日が休館です。</p> <p>通所介護施設は土曜日営業している施設もございます。ですが、マッチング自体は事前に行っているため、介護施設の休みと必ずしもリンクする必要は無いと考えます。</p> <p>仕事している方も利用出来るように、平日は開館時間を18時30分までとしております。また、スタッフ協議では土日を休館して平日の開館時間を20時までとかに延長してはとの意見も出ております。どちらにせよ3人のスタッフでローテーションを組んでいるので限界はあります。</p> <p>月曜日は社会福祉協議会である程度の対応はできます。</p>
鎌倉委員	<p>質問ですが、ボランティアセンターがお休みの月曜日は伝言程度なら社会福祉協議会で対応してくれるのですか。</p>
近藤課長	<p>対応いたします。</p>
鎌倉委員	<p>センターは10時開館ですが、社会福祉協議会はそれ以前でも対応可能ですか。</p>
近藤課長	<p>社会福祉協議会は8時30分から運営していますので、運営時間中は対応します。</p>
鎌倉委員	<p>せっかくの良い対応なので、その情報は発信すべきだと思います。</p>
大西会長	<p>平日と土日で利用内容に違いはありますか？内容に違いがあるのであれば、土日に開館する必要があると思います。まず利用内容を把握して協議しましょう。すぐに決定する必要がありますか。</p>
事務局	<p>今年度は現状のまま運営しますので、急いで決定する事項ではないです。</p>
井原委員	<p>例えば、休館日は電話を社会福祉協議会に自動転送してはどうですか。</p>
大西会長	<p>メール対応はどうなっていますか。</p> <p>ボランティアセンターは分り難い所にあるので、利用者が電話やメールで繋がれることが大切なのではないでしょうか。電話の転送はとても良い事だと思います。</p>
大西委員	<p>ボランティアの活動の内容(募集)を知ることは、ホームページやボランティアセンターでないと分らないのであれば、大型スーパーなどの商業施設の空きスペースを使用させてもらって掲示してはどうですか。</p>
鈴木委員	<p>土居で活動しているシークレットサービスは土居の駅前に設けている事務所を装飾したり、ケーブルテレビで事業の周知や参加者を募集したりし、PRを工夫しています。ボランティアセンターも事業がある際はケーブルテレビを活用するなどしてはどうですか。</p>

大西会長	情報発信は掲示するところで効果には違いがあるので、大型スーパーなども検討していただきたい。
近藤課長	ボランティアセンターでは様々な利用できる物品があるが、利用者はボランティアセンター近隣の方がほとんどである。センターと住居地との距離の問題もあります。 先程から言うとおりの、販わっている所があれば状況はもう少し違うと思います。現施設も耐震化の問題で今後の移転が必要になってくると思うので、より良い場所への移転を期待しています。
宮崎委員	ボランティア推進計画の中のアンケートの結果を見ると、関心は高いが活動できていないのが分ります。高校生にボランティアを依頼する中で証明書の請求が無くなってきています。特典が無くてボランティアをやりたい人はいるのだと思います。 ボランティアを募集する時も活動を具体的に示すことが大切です。 また、ボランティアしたい人も何をしたいか意思を持っておく事が大切です。
鎌倉委員	東日本大震災の時の被災地では、ボランティアをしたいが何をしたらいいかわからないという人が溢れる状況だったと聞いています。
宮崎委員	目的を持っていないと、スムーズに活動に参加できません。
大西会長	そういった事を考えて、コーディネーターのスキルアップが計画に謳われておりますし、コーディネーターの技量が試される部分になってくるのだと思います。私は学校の評議委員も務めさせていただいているが、宮崎委員がおっしゃるとおり、学生のボランティアへの関心はとても高いが、何をやりたいか、何があるのかわからないというのが現状です。その世代を上手く巻き込めれば大きな力になっていきます。やはり子どもの時からボランティアに参加していれば、大人になる頃には何をやりたい、何が得意というのは分かっていると思います。
大西会長	他に意見はございませんか。 事務局何かございますか。
事務局	先程もお伝えしましたが、次回までにボランティアセンターの事業案と開館について各委員で考えておいていただければと思います。よろしくをお願いします。
大西会長	事務局より、次回までへの宿題をいただきましたので、皆さんご協力よろしくお願いいいたします。 それではこれもちまして、第1回ボランティア市民活動推進協議会を終了いたします。ありがとうございました。